

吉 積 巳 貴

(食マネジメント学部)

食×持続可能性



OECD の調査で Well-Being の社会的側面の評価が低い日本において、特に人口減少が進む農村地域の活性化と Well-Being の向上が課題です。この研究では、地域の食資源を活用し、地域住民と外部参加者の交流を促進するプログラムを開発します。地域の農作業参加や食文化体験を通じて、地域の文化と経済を活性化し、参加者に新たな社会的経験を提供することを目指します。

また、効果測定のため、プログラム参加前後のアンケートやインタビューを実施し、参加者の Well-Being の変化を定量的に捉えます。これにより、プログラムの有効性を評価し、改善点を見出します。

世界農業遺産「琵琶湖システム」を持つ滋賀県を研究フィールドに、豊かな自然と独自の食文化を活かし、地域活性化と Well-Being 向上のプログラム開発を行っています。またプログラムの一環として、食品開発を行っています。



所 属

食マネジメント学部

研究テーマ

- 食資源を活用した持続可能な地域づくり
- ローカルフードシステムレジリエンスの構築
- 持続可能な教育 (ESD) プログラム開発

キーワード

持続可能性、地域づくり、
サステナブル・ガストロノミー、
持続可能な教育 (ESD)

つながり茶 ~Well-being~

つながり茶~Well-Being~

びわ湖源流の郷・高島で育ったホーリーバジルと京都宇治の老舗製茶問屋「山政小山園」の煎茶・ほうじ茶をブレンドし、日本茶ハーブティーを考案しました。江戸時代から引き継がれる本物の日本茶とホーリーバジルの爽やかな香りが楽しめる1杯です。

身体・精神・社会的な健康「Well-being」の実現に重要な「つながり」に着目し、ホーリーバジルと日本茶のつながり、人と自然のつながりから、「つながり茶~Well-Being~」と名付けました。

ホーリーバジルとは？

ホーリーバジルは、ガバオライスに使用されることで馴染みのハーブでありながら、伝統的なインド医学アーユルヴェーダにおいても重宝されてきた薬用植物です。

【効能】
血糖値降下、解熱、抗炎症作用、ストレス解消効果
コレステロール低下作用、睡眠時間増強、リラックスなど多くの効果があります。
出典：『世界薬用植物百科事典』『世界薬用植物辞典』

高島市南深清水地区 南深清水FF倶楽部

四季折々の自然が満喫できる極上の癒し空間、びわ湖の絶景が見える高島深清水地区で、特産の富有柿の他、耕作放棄地を活用してオリーブや様々なハーブを栽培しています。

南深清水FF倶楽部は、FF=FOR THE FUTURE（未来に向かって、未来のために）をテーマに、「健康」と「持続可能な地域づくり」を目指して活動しています。また深清水は滋賀県の「やまの健康」モデル地域に令和2年度に選定されています。

**山政小山園 × 南深清水FF倶楽部
立命館大学食マネジメント学部
ブレンド茶開発プロジェクト**

高島市の人口減少や耕作放棄地問題の解決や、日本茶産業の活性化を目指して、高島深清水の美しく豊かな自然で育ったホーリーバジルを活用した日本茶ハーブティーを開発しました。ゆくゆくは、滋賀県のwell-beingを代表する特産品として世に広めていきたいと考えています。

滋賀県高島市深清水地域活性化活動を通して
商品開発したブレンド茶